

# 事故を防ぐために

電子レンジを調理外で使用するについては次のような点を参考に、よく注意しましょう。

● 電子レンジの取扱説明書には「調理目的以外には使用しない」と書かれており、メーカーでは調理以外の目的で電子レンジを使用することを禁止しています。

● 電子レンジで使用する商品の表示通りに加熱しても破裂した例があります。一度そのような事故が起きると電子レンジが故障したり、高温になった内容物でやけどをすることがあります。

● 電子レンジでおしぼりなどを温めたり乾燥させたりすることも調理外の使用です。加熱し過ぎると発煙・発火に至ることもあります。



調理で使用する場合でも注意が必要です。

● 食品の加熱に使用する場合でも、卵や飲料、油脂の多いものなど、注意が必要なものがあります。取扱説明書をよく読んで使用しましょう。

● 本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。

<http://www.kokusen.go.jp/ken/index.html>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、協力病院等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。  
 特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。  
 商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。  
 無断転載はお断りいたします。

独立行政法人  
**国民生活センター**

〒108-8602 東京都港区高輪 3-13-22 TEL.03(3443)1208 ● 2008年5月発行

# くらしの危険 Number 283

## 電子レンジを調理外目的で使用する危険

電子レンジは調理機器として生活にすっかり定着しました。

簡単な操作で温め調理ができるため、取扱説明書を熟読しなくても使えてしまいます。

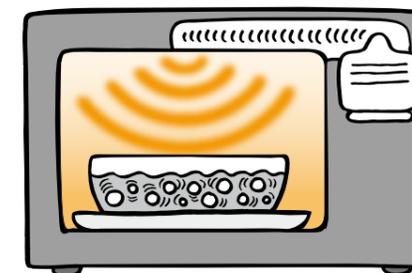
最近では食料品以外の電子レンジの機能を利用したいろいろな便利商品が販売されていますが、電子レンジは調理器具です。

調理以外の目的で使用することは意外な危険が潜んでいます。



### 電子レンジのしくみと事故

外部からの熱で食品を徐々に加熱する他の加熱調理器具と異なり、電子レンジはマイクロ波という電波で食品内部の水分子を直接振動させることによって加熱します。したがって、例えば卵のような殻や膜のある食品では、内部に逃げ場のない水蒸気が発生し、これにより内圧が上がり破裂するという現象が起こります。また液体を電子レンジで温めると、内部から急激に加熱されるため突然爆発的に沸騰したり、取り出してお茶の粉などを入れると突然吹き上がることがあります。



最近、電子レンジのこの仕組みを利用し、内部に用いたジェル状や粘土状の水分の多い素材を電子レンジで加熱することで暖をとる、カイロや湯たんぽなどの商品をよく見かけます。

# こんな事故が起きています



## 哺乳瓶消毒用バッグ

**ケース 1** 電子レンジ用哺乳瓶消毒用バッグに規定量の水を入れ、哺乳瓶を置く位置など取扱説明書の細かな注意を守り加熱していたが、突然大きな音と共に電子レンジのドアが開き、哺乳瓶が破裂して飛び散った。  
(事故発生年月 2007年11月)

## 岩盤浴マット

**ケース 2** 電子レンジで加熱後、敷いて岩盤浴ができる500円のマットを100円均一店で購入。ワット数や時間も表示通りに加熱していたが、爆発音がして裂け内容物が飛散した。内容物に黄土とあるので不安。  
(事故発生年月 2008年2月)

## 湯たんぽ

**ケース 3** 電子レンジで温める湯たんぽ。いつも通りに加熱したが温まらなかったため、少しずつ追加で加熱していたら破裂した。レンジ内にジェルが飛び散った。  
(事故発生年月 2007年4月)

## 風呂用保温器

**ケース 4** 外側がプラスチックで、電子レンジで加熱してお風呂に入るとお湯が冷めないという風呂用保温器。規定より短い時間加熱し、レンジの終了音で扉を開けたら破裂し、中の蠟状のものが足元に垂れてやけどしそうになった。蠟状のものが冷えたら今度は扉が開かなくなり電子レンジが使えなくなった。  
(事故発生年月 2007年2月)



## カイロ

**ケース 5** 妻が電子レンジに入れて温めるタイプのカイロを加熱していたら、中のゼリーが飛び出した。(事故発生年月 2006年1月)

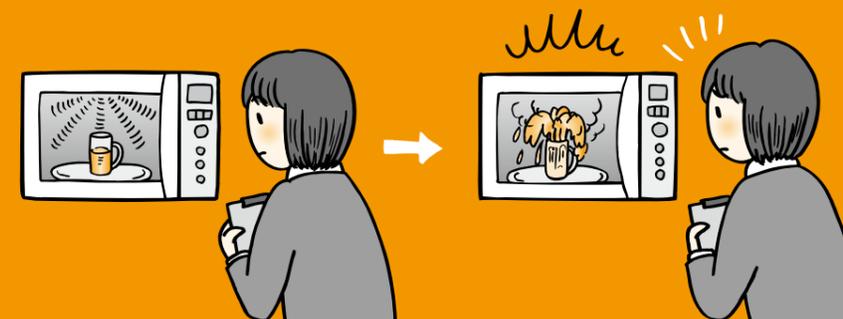
## ゆで卵用調理器具

**ケース 6** ゆで卵調理器を購入し度々使用していた。取扱説明書通りに使用していたのに破裂し電子レンジが壊れた。  
(事故発生年月 2007年9月)



## 電子レンジの使い方による危険性

国民生活センター商品テスト部では、PIO-NETに寄せられた事例や消費者へのアンケートを元に、2003年9月「電



子レンジを安全に使うために「使い方による危険性を探る」をまとめました。

それによると、食品の調理でも、おでんやスコッチエッグなどのゆで卵を使った食品を電子レンジで温めた場合、庫内や取り出した後に破裂する危険があることや、飲み物を電子レンジで温めると急激に沸騰したり吹き上がる危険があることがわかりました。また容器に関しては、使用が禁止されている金属の装飾付の皿を温めると表面に火花が走り高温になったり、耐熱性のあるプラスチック容器であっても、油脂が多い食品の加熱では変形したり環境ホルモンの疑いのある物質の溶出もありました。

一方、調理以外の目的で使用することは取扱説明書では原則禁止されていますが、アンケートからは電子レンジを調理以外の目的で使用していることが多いこともわかりました。これについてメーカー6社にアンケートを行ったところ5社が「使用しないでほしい」と答えています。  
(詳細は [http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20030905\\_1.html](http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20030905_1.html))